

広聴部会

日時 令和3年3月19日（金） 午後1時00分～
場所 第3委員会室

1 今後の活動について

2 その他

令和3年度の広報活動について(案)

1. 広報活動の目的

- ① 定例の各議会や委員会はじめ、議会活動の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 議会の在り方や、議会の役割、議会・議員の活動などについて、市民に興味・関心を持ってもらい、理解と協力を得る。
- ③ 市民ニーズや市民の声をたえずリサーチして広報活動(特に議会だより編集)に生かすとともに、それらを議会活動にどのように反映したかを市民にフィードバックさせる。

2. 広報活動の基本方針

- ① 定例の各議会を客観的・かつ正確に、議会としての立場から報道することを中心にした議会だよりを、さらによりよいものに改革して編集・発行する。(議会だよりの編集・発行については別紙で詳細に提案) 議会だよりの活用(配布場所・意見収集の手段の開発)についても改革を進める。
- ② 議会だよりとともに、議会活動の広報手段として、SNS発信を手掛ける。当面は Facebook の亀岡市議会ページの投稿を続けて行っていく。Facebook の投稿の基本的ルールやマニュアル、役割分担を明確にする。また、あらたなツールの開発・研究を行う。
- ③ 絶えず広聴部会との連携をとり、議会(議会運営委員会)との間で、「報告」「連絡」「相談」を密にとる。
- ④ 亀岡市のホームページ上の「亀岡市議会」のページのリニューアルに広報部会としてもかがわっていく。
- ⑤ その他、あらゆる角度・視点から広報活動に関わるアイデアや工夫を部会で出し合っていく。

3. その他

- ① 本日の議論をもとに、広報部会の活動について広報広聴会議で報告し、共通理解を得る。
- ② 議会だより等の改革、検討(オールカラー化、配布場所の開拓、意見収集、地域や学校などとの連携等)など、あらたな計画については広報広聴会議から議会運営委員会に報告・提案して合意をもって進める。
- ③ 広報部会のグループLINEを有効活用して、部会以外でも連携をとる。(担当事務局もグループに入る)

議会だよりNo.188の編集について

1. 編集にあたって、今号で打ち出したいポイントをざっくばらんに出し合ひましょう。

2. 編集方針(前回の部会から)

- ① 議会の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 「市民にページを開いてよんでもらってナンボ」。市民が読んでみたくなる紙面に。
- ③ 何を伝えたいのか市民に知ってほしいのか?まずは明確に。
- ④ 編集の工夫…表紙、見出し、写真、カラーページの活用など

3. 議会だよりNo.188

1P…(カラー)

- 週刊誌風表紙のスタイルを継続する。読んでみたくなる見出しは?

2P…

- 「かめまるくんとしんがくんの議会トーク」
- 3月議会の概要がよくわかるもの、子どもでも読んでわかるものを意識して
- あまり詰め込まない。余白を十分にとる。

3P…

- 広聴部会の活動を中心に取り上げる。南丹高校生等の意見交換会(浅田議員が担当)
※広聴部会にも、3pは広聴部会の企画・活動を毎回掲載することを了承いただく。

4. 5P…(カラー)

- 予算審査の特集
打ち出しのポイントは?

6P~7P…

- 常任委員会の審査報告 ○ 討論 ○ 議決結果 ○ 議決内容 等

8. 9P~15P…

- 各議員の一般質問(※3月議会は8. 9Pで代表質問(カラー))

16P…

- 3月議会を終えて(議長・副議長・監査が順番で)
- 議会を傍聴して(各会派に順番で依頼。コロナ禍ではネット中継視聴の感想)
- 次回議会日程等、お知らせ
- 広報広聴会議写真(撮影の日程押さえ)

議会だよりの編集について

1. 編集の目的

- ① 定例の各議会の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 議会の在り方や、議会の役割、議会・議員の活動などについて、市民に興味・関心を持ってもらい、理解と協力を得る。
- ③ 広報広聴会議の活動の結節点、広報広聴活動を知らせるツールとして、広聴活動の紹介、収集した市民からの声・意見の紹介などを行う。

2. 編集にあたっての共通認識

- ① 広報部会で編集するが、広報広聴会議として発行すること、発行責任は議会・議員全体に係ることを認識して編集にあたる。そのためには、絶えず広聴部会との連携をとり、議会（議会運営委員会）との間で、「報告」「連絡」「相談」を密にとる。
- ② 議会だよりは、「市民にページを開いてよんでもらってナンボ」である。市民が読んでみたくなる紙面づくりの努力なしに広報活動は成り立たない。
- ③ 上記のために、以下のような点を留意する
 - 視覚に訴える工夫を優先。カラーページの有効活用（全頁カラーも来年度に向けて検討）
 - 表紙の工夫（表紙で読者を惹きつける）
 - 掲載ページ順序の工夫（読みやすいもの、注目されるもの、重要なものから順に）
 - ページレイアウトの工夫
 - ・ 写真・イラストの効果的配置
 - 写真の大きさや向き、位置も重要。
 - 写真には効果的なキャプションをつける。
 - イラストやカットは癒しや和みを与える。
 - かめまるくん、しんがくんキャラクターの活用。議員が表現しにくい内容も代弁してくれる。
 - ・ 見出しの工夫
 - 大きく、短く、イメージしやすいものを。
 - 長い文章には小見出しをつけて分ける。小見出しを読めば要約されているというように。
 - 読者は見出しだけ見ていくので、スルーされたらおしまい。
 - ・ リード及び本文の工夫
 - 客観的な報道で、簡潔なリード文で誘導
 - ※ 例・・・5W1H→When（いつ）、Where（どこで）、Who（だれが）、What（なにを）、Why（なぜ、なんのために）、How（どのように）
 - ※ できる限り、要点以外の無駄な言葉を削ぎ落して、字数を少なくする。結論がわかりやすくする。
 - 読みやすさ、見やすさを優先。文字を大きく、少なく
 - ※最低でも12P。字数を今の7～8割に削減目標で。
 - ※太字や囲みも有効に活用

→市民目線で、理解しやすい言葉を使う。

※どうしても言葉を変えられないときは、解説文を挿入など。

○ 余白の有効活用(字が大きいと読みやすいが、詰め詰めだと疲れる。文字が小さくなって
も余白を作るほうが読みやすい場合もある)

④ 絶えず市民を意識して、情報収集に努める。

○ 市民の声が載っていると興味が持てる。

○ 賛否両論のバランスを配慮する

○ 広聴部会の活動を必ず紹介する。広聴部会は3か月一度、必ずネタを作ってください!

○ 当面3Pは、広聴部会の活動を基に話題・記事を組み立てる。

3. 当面の議会だより編集方針

1P…(カラー)

○ 現在継続している週刊誌風表紙のスタイルを継続する。読んでみたくなる見出しで

○ 当面、タイトル「かめおか」は今のものを継続するが、「かめおか」にこだわることなく、よりよい表紙にふさわしいタイトルや名前(「議会だより」含む)を追求していく。

○ 左開きの冊子にふさわしい縦書きのタイトルも視野に入れる。

2P…

○ 「かめまるくんとしんがくんの議会トーク」

○ ■月議会の概要がよくわかるもの、子どもでも読んでわかるものを意識して

○ あまり詰め込まない。余白を十分にとる。

3P…

○ 議会活動や議員について興味関心、理解を得る内容に

○ 広聴部会の活動を中心に取り上げる。

4. 5P…(カラー)

○ 従来から特集ページとしてきた。予算、決算の議会の時はその特集とし、内容も市の広報ではない議会の徹底審査の様子が伝わるものに工夫してきた。予算、決算でない議会の時
は、議員や議会活動についてテーマを決めて掲載してきた。(教えて議員さん、子ども議会
など議会の取り組み、わがまちトークなど市民との交流、市民からの投稿、作品紹介、市民
の声・意見の掲載など)

6P~8P…

○ 常任委員会の審査報告 ○ 討論 ○ 議決結果 ○ 議決内容 等

9P~15P…

○ 各議員の一般質問(※3月議会は8.9Pで代表質問(カラー))

16P…

○ 3月議会を終えて(議長・副議長・監査が順番で)

○ 議会を傍聴して(各会派に順番で依頼。コロナ禍ではネット中継視聴の感想)

○ 次回議会日程等、お知らせ

○ 編集後記は掲載しない(No.188には今後2年間担当する、広報広聴部会ごとの写真と名簿を掲載する。それぞれの部会の役割を短くキャプションで入れる)

4. 議会だよりNo.188の編集について(別紙)